



1285 3年「人間の血はなぜ赤い」4/30

ぼく「運動場でこけて赤い血が出たよ。」

父「いたくなかった？」

ぼく「がまんしたけど、なぜ血が赤いの？」

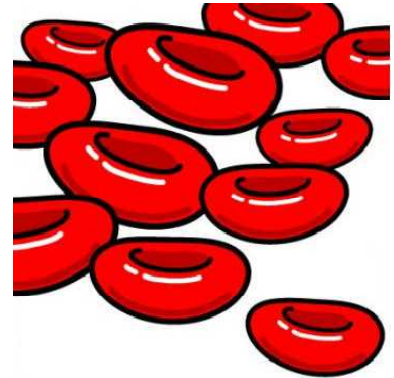
父「お父さんのうでの血管は青い色だよ。なぜ赤いのかを調べてごらん。」

血液が赤いのは血液の中に赤血球とよばれるものがあるからです。その中のヘモグロビンというものが赤いからです。

血管が青いのは光の波長のためです。

父「人間の血は赤いけど、ほかの生き物はどうか調べてみたらおもしろいね。」

- ★ 動物によって血液の色は違うので調べるといいね。実際に「見る」ではなく「観る」といい。イカの血液にチャレンジしてほしいです。生きているイカの血液は青い。死んでしまうと透明になります。イカ釣りする人は、この青を写真にとりましょう。



1286 6年「レジ袋は環境に悪い」5/1

父「そういえば、もうすぐレジ袋が有料になるらしいよ。」

母「マイバックを持って行かないといけないね。」

ぼく「どうしてレジ袋は環境に悪いの？」

父「調べてごらん。」

一つ目の問題は原料。レジ袋は石油から作られるプラスチックです。大量生産、大量消費で石油が減ってしまいます。

二つ目の問題は人。レジ袋はただで便利だから、必要ない分まで使います。使い終わったレジ袋はほとんど捨てられプラスチックゴミが増えます。燃やせば二酸化炭素が出ます。プラスチックゴミを動物が食べて命を落とす問題もあります。

有料化して必要な分だけ使ったり、マイバックを持参してプラスチックゴミを減らそうとする運動が広がっています。

ぼく「これからレジ袋ではなく、マイバックで買い物に行こうかな。」

父「一人一人のそういう気持ちが環境保護につながっていくね。」

- ★ 少しの数の場合は「レジ袋をもらわない」という選択もあります。

野菜、魚、肉、豆腐、お菓子など、それぞれの専門店で買う。私が小さな頃は、そういうお店がいっぱいありました。レジ袋などありません。それでも不便だとは思いませんでした。私たちはたくさんのサービスを受けることに慣れすぎてしまいましたね。

ところで三島は、こういう専門店が残っています。「いいなあ。」と思います。





1287 4年「単元まとめノートのマング」



○Aさん

空気てっぽうは玉が飛ぶけど、水ですると飛ばない。

今回も、上手くまとめています。前と後はカットしていますが、終わりを意識したマンガ作り。そこで、あなたただから注文します。

「できるんだよね」と胸ぐらつかんでせまっている場面。ここを工夫して、「こんな表現の仕方があるよ」と示してほしいな。マンガで表現する人も考えましょう。

○Bさん

「空気と水」の単元の最後は噴水実験。当日は天気が悪かったので、理科室の流しを使つての実験にしました。

このマンガは「息を入れて噴水したら、前の子の顔に水がかかった。けれど・・・」を表現しています。

顔に水をかけられても「これ、おもしろい」の表情が、とてもいいなあ。

★ マングの表現が増えています。
単元まとめノートの授業での公開を再開しました。

三島小学校のHPでの公開も始まりました。

マンガを作る人は、読む人の気持ちを考えた作品にしましょう。

読んで大事なことを確かめることができるマンガを。

読んだら「そうだよね。」「そうか!」「気持ちがあつたかくなる。」というマンガを。

